生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

この重点分野における重点活動は、以下の通りです。

- インフラ整備と生活の向上に貢献する商品やサービスの提供
- イノベーションの活用による生産性/安全性向上・効率化・省エネルギー促進
- 商品の稼働現場と事業所における環境対応
- 商品のライフサイクルにおける環境負荷軽減
- 安全性の向上（お客さま、社会、社員、ビジネスパートナー）

活動項目と基本方針、2014年度の成果

項目	基本方針・考え方
本業を通じたCSR活動	建設現場や鉱山、林業などの現場で稼働する商品を通じて、人々の生活を豊かにするお手伝いをしています。
イノベーションとCSR -スマートコンストラクション-	イノベーションを駆使して、環境性能や経済性、安全性などの価値を生み出し、お客様や社会の課題を解決します。
品質と信頼性（責任ある顧客対応）	お客様第一主義を基本方針に、開発、生産、販売、サービス、管理のすべての部門を現場ととらえ、継続的な改革・改善を行い、お客様の満足度を最大限に追求していきます。
環境への取り組み	「コマツ地球環境基本方針」の下、環境活動を経営の最優先課題の一つと位置づけ、環境保全活動を徹底して推進しています。
労働安全衛生	労働安全衛生は、事業を展開する上での最も重要なテーマの一つです。社長メッセージを発信するとともに、「安全衛生方針」を定め、会社と社員が協力して活動を推進しています。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野 1

本業を通じたCSR活動

コマツは建設現場や鉱山、林業などの現場で稼働する商品を通じて、人々の生活を豊かにするお手伝いをしています。またイノベーションを駆使して特長ある商品・サービスを提供することにより、お客さまや社会の課題を解決しています。

インフラ整備と生活の向上に貢献する

コマツが提供する建設・鉱山機械をはじめとした商品は、世界の国づくりや住みよい暮らしに役立っています。
建設機械は、道路や商業施設の建設、港湾・護岸工事など、生活インフラを整備します。また、木材やパルプを生産する林業、石炭や鉄鉱石などの資源を生産する鉱山でも、コマツの商品は活躍します。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

イノベーションを通じたビジネスの展開

これらの商品・サービスを提供するに当たって、コマツはイノベーションを通じて、お客さまの要求にお応えし、必要とされる存在になることを目指しています。そして最終的には全世界の人々の生活を豊かにするためのお手伝いをすることが、コマツの使命であると考えています。
この取り組みを、土木建設のお客さまへの対応を例にして示すと、以下のようになります。

土木建設事業を通じて生活を豊かにするイメージ

コマツの取り組み

- 高品質な建設機械の提供
- 機械を止めないサービス活動
- 環境に優しい機械
- 高機能な建設ソリューション

遠隔管理（KOMTRAX）で最適サービスを提供

燃費を通常型より25%向上したハイブリット車

情報化施工などICTを活用したスマートコンストラクション

▼

社会課題の解決

- 工事期間短縮
- 良質の工事仕上げ
- 燃費向上によるCO_2削減
- 安全
- 地域社会への貢献（安全・健康な町づくり等）

▼

全世界の人々の生活を豊かにするお手伝い

このように、お客さまや社会が求める商品・サービスを提供し、また事業を展開する上では、環境や安全といった点に配慮しながら、「生活を豊かにする」というテーマに取り組んでいます。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

品質と信頼性 ～責任ある顧客対応～

コマツのものづくりの基本は、品質と信頼性を追求し、お客さまに満足いただける商品（ハードとソフト）を提供することにあります。この達成のため、コマツはお客さま第一主義を基本方針に、開発、生産、販売、サービス、管理のすべての部門を現場ととらえて継続的な改革・改善を行い、お客さまの満足度を最大限に追求していくことを基本としています。

実施にあたっては、地球環境、品質保証、人材育成をコマツの品質経営の領域として定め、指標を用いて品質経営を推進しています。

考え方（コマツ品質保証の行動指針）

コマツは、商品・サービスの品質に関して以下の指針を定め、すべての社員がその実現を図っ ています。

品質と信頼性を高める経営の指針

常にお客さまの立場を考え、環境に配慮した、安全で創造的な商品・サービスとシステムを 提供する。

品質保証の定義

お客さまが安心し満足して買うことができ、その商品を使用して安心感を持ち、しかも末永く使用できる製品・サービスを提供できることを保証していく活動、責務。

品質保証行動指針

（1）常に、お客さまの声に耳を傾け、お客さまの立場で考え、お客さまに応え、満足していただくことが全社員の仕事の基本であり責任です。
（2）常に、国際規格や各国の法規制を遵守することはもとより、お客さまの立場に立って安全と安心に配慮した故障しにくい商品やサービスを提供することが仕事の基本であり責任です。
（3）常に、地球環境保全に配慮した商品やサービスを提供することが仕事の基本であり責任です。
（4）常に、お客さまのためになる創造的な商品やサービスを提供することが仕事の基本であり責任です。
（5）常に、お客さまに安全、安心感、満足感を持って末永く使用していただくことが全社員の喜びです。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

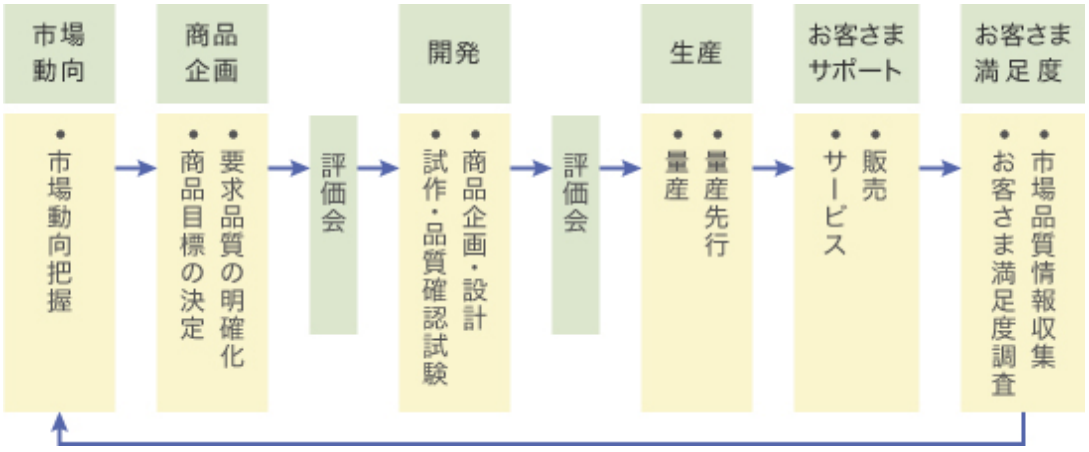
CSR重点分野1

品質保証の仕組み

コマツは、商品企画から開発、生産、販売、サービスにいたる各部門の全員が一体感を持って、安全で創造的な商品作り、高品質な商品作りを継続的に行っています。さらに、コマツ独自のものづくり体制の強化により、競争力のあるダントツ商品の市場導入や大きな特長を持ったサービスやシステムの提供を実現しています。

また、開発・生産体系の各ステップにおいては、さまざまな検討会・評価会を行い、適合性の評価と目標達成までの作り込み活動を推進し、「品質と信頼性」を確実なものとした品質保証活動を実施しています。

こうした活動を通じ、地球環境に配慮した商品・サービスの提供と国際規格や各国の法規制の遵守を可能とし、お客さまの安全性の確保と満足度の向上に努めています。



品質保証の体制

建設・鉱山機械や、プレス、フォークリフトといった当社商品の大半は、お客さまの事業現場において生産設備として使われています。そして毎日、長時間にわたって高い稼働率と生産性でお客さまに貢献することが求められます。このような商品特性を反映して、コマツでは販売・サービスのスタッフが直接お客さまを訪問し、商品・作業方法のきめ細かなリコメンドやメンテナンス活動を行うだけでなく、商品に対するお客さまのご意見・ご要望を関連部門にフィードバックし、その情報にいち早く応えてお客さまの満足度を高めていく体制を構築しています。

また市場で品質問題が発見された場合、迅速に問題に対処し、その対応策を営業・サービス部門全体で共有できるよう、市場品質データベースを設置しています。

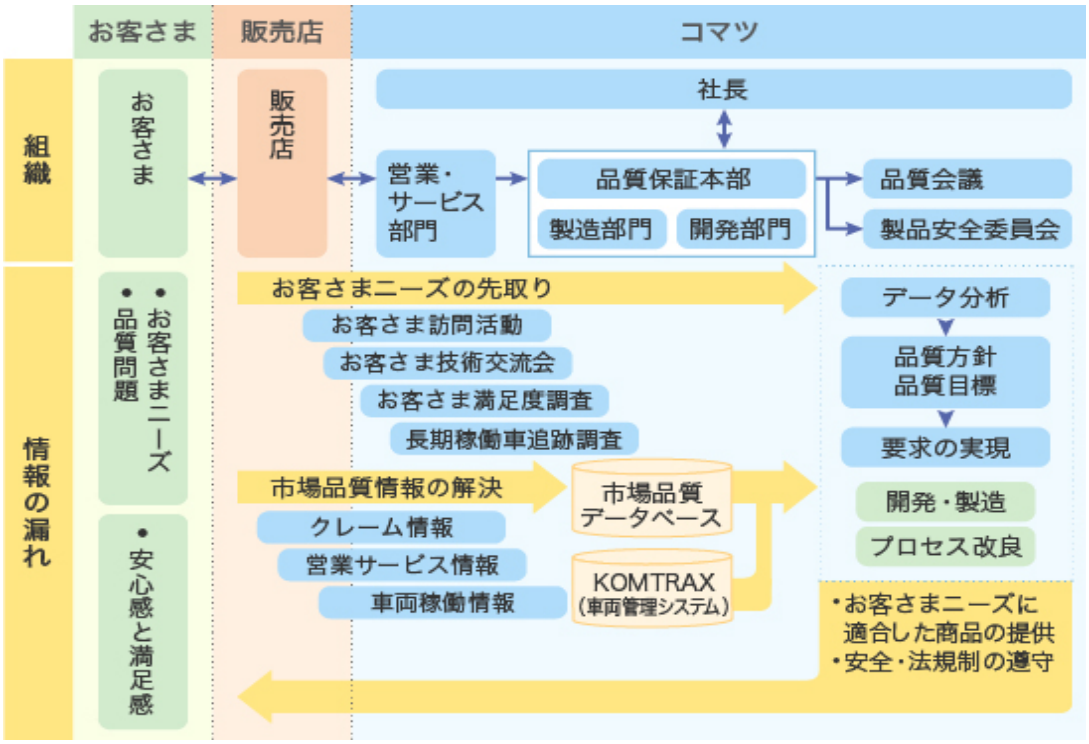
生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

お客さま満足度の向上

コマツは、「品質保証行動指針」に基づき、お客さま満足度向上をめざしたさまざまな取り組みを行っています。

まず、お客さまの声を真摯に受け止め、常に検証することが何よりも重要であり、その施策として初期流動品調査をはじめとする「お客さま満足度調査」を定期的に実施しています。その結果を商品の改良や品質保証体制の改善に活かすとともに、ニーズを先取りしたダントツ商品の開発や特長あるサービスの創出により、お客さまへの新たな価値を提供しています。この一連のサイクルを絶え間なく進めることにより、お客さま満足度の向上につなげています。



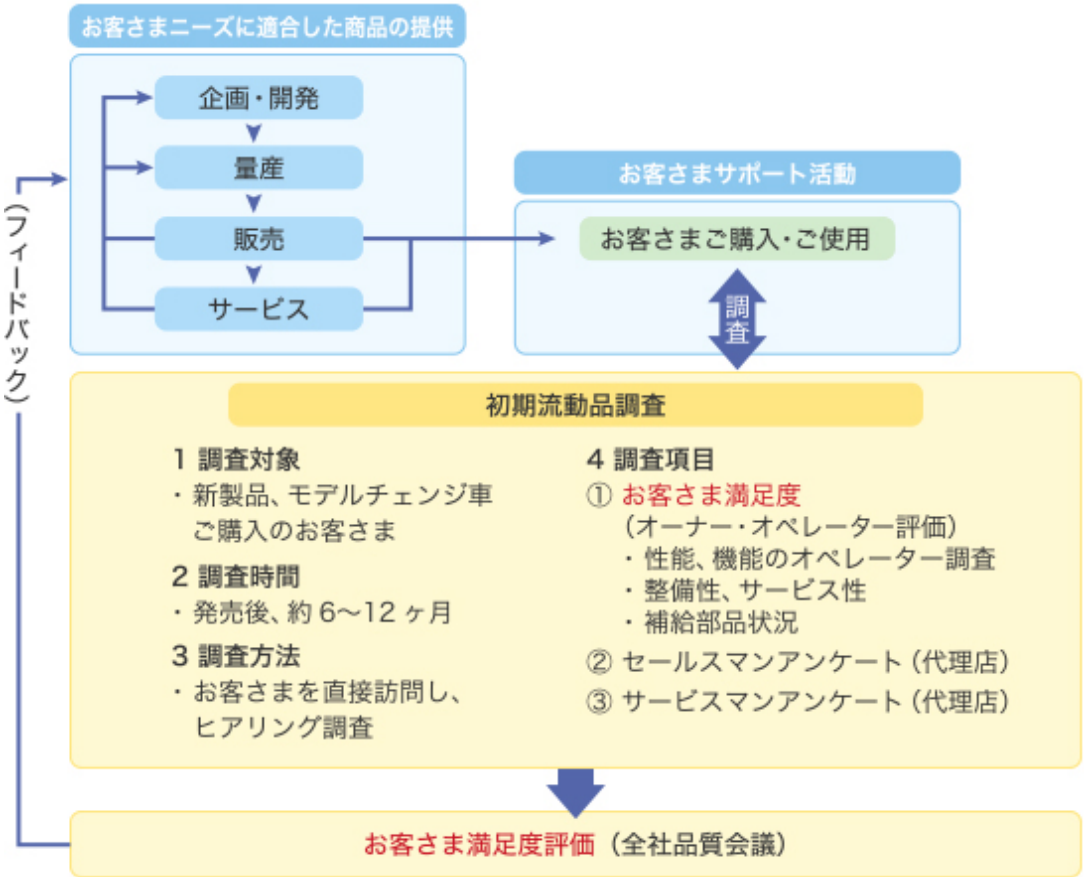
生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

初期流動品調査と結果のフィードバック

初期流動品調査は、新商品をご購入いただいたお客さまを直接訪問し、商品に対する評価をお聞きして、お客さま満足度を総合的に把握するシステムです。

具体的には、お客さまが日ごろ感じている商品の品質・信頼性に関する満足度、セールス・サービス活動、補給部品についての評価や意見・要望をヒアリングし、得られた情報のデータ処理と分析を行って改善に向けた方針を決定します。その結果は、経営トップも含め情報を共有化するとともに、開発・生産・販売・サービスにいたる各ステップにフィードバックし、問題点の改善や品質保証システムの見直しを行い、お客さまにご満足いただける商品とサービスの提供を実現しています。



生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

長期稼働車追跡調査＊

コマツは、従来より商品の耐久性、信頼性の向上を「長期稼働車追跡調査」というシステムで運営し、お客さまに満足いただける商品の提供と省資源に向けた活動を推進してきました。また、最近ではKOMTRAX PlusというICTを活用した遠隔管理システムで商品の稼働状態を確認できるようにもなってきています。これらの情報をベースに、耐久性・経済性・性能機能の劣化状況の確認・解析を行います。その結果がお客さまの期待どおりになっているか、またお客さまの要求事項がコマツの品質目標に適合しているか評価を行い、不十分な項目については改善方針を立案し、商品の改良や新商品の開発に展開します。こうした活動を通じ商品の耐久性・信頼性を高めるとともに、ライフサイクルを延長することにより、お客さまの満足度向上と資源の節約、廃棄物削減を実現しています。

＊：5,000時間以上稼働している車両を対象。

ICTを活用したライフサイクルサポート

コマツは、一般建設機械にはKOMTRAX、鉱山向け大型機械にはKOMTRAX PlusというICTを活用した遠隔管理システムにより、車両の「健康状態」「稼働状態」などの車両情報を把握し、これらの情報を商品やサービスに活用することにより、お客さまの保有車両の稼働率向上や維持費の低減など、ライフサイクルでのサポートに貢献しています。

グローバルな品質保証活動

コマツのグローバルな品質保証活動は、全世界すべての拠点で統一な品質レベルを実現することです。そのため、全世界共通の統一図面・生産体制・検査方式・情報収集・品質マネジメントをめざした活動を行っています。

具体的な取り組みとして、全世界の生産拠点のうち、商品開発機能を持つ拠点を「マザー工場」と称し、グローバルな開発・生産活動の中核として位置づけ、そこで培った最高の技術・技能を全世界の生産拠点に移転することで、全社的な技術の向上と品質の向上を図っています。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

お客さまの安全と安心に応える製品安全の推進

コマツは、「安全」「安心」を品質保証活動の最優先課題として取り組んでいます。製品安全行動基準・指針を定め、これを全社員一丸となって遵守することにより、安全で安心して末永く使用していただける製品の提供をめざします。

製品安全、サービスに関する情報体制

コマツは、市場での製品安全上の問題をいち早く察知するため製品安全システムを設け、迅速な対応を行っています。また、＜1＞事故原因の解析と処置、＜2＞関係省庁への連絡、＜3＞市場にある製品回収などの改善対策決定などの一連の活動が経営トップを含めて迅速に行えるよう、常に改善を続けています。

製品安全行動基準

（1）コンプライアンス

常に、国際規格や各国の法規制を遵守した製品やサービスを提供することが全社員の仕事の基本であり責任です。

（2）予防安全

常に、お客さまへ危害を与えない安全で安心できる製品やサービスを提供することが、全社員の基本であり責任です。

（3）事故保全

常に、お客さまが万一事故に遭遇した場合でも、最小限の被害となる製品を提供することが、全社員の基本であり責任です。

（4）透明性

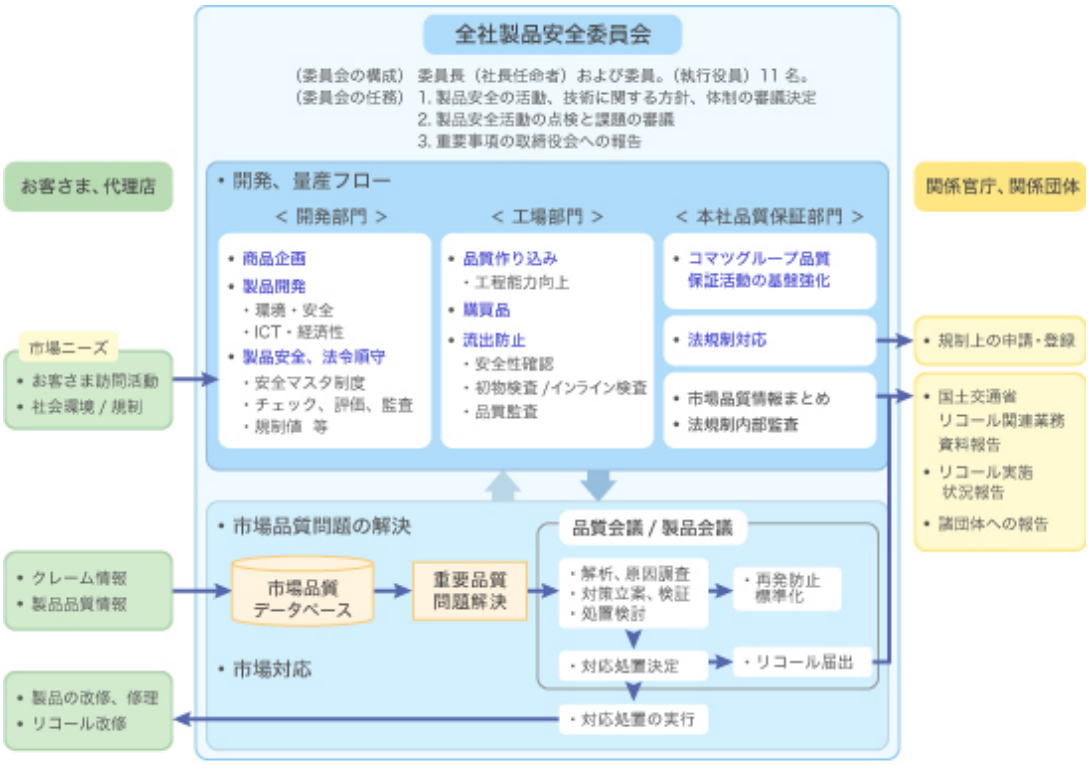
常に、お客さまの情報に耳を傾け、危険予知活動を続け、万一製品やサービスに欠陥が生じた場合は迅速な処置と情報公開に努めることが全社員の基本であり責任です。

（5）組織風土改善

常に、製品安全性を重視する企業風土を醸成するために、安全マネジメントシステムや安全技術の標準化と継続的改善に努めることが全社員の基本であり責任です。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1



お客さまへの製品安全情報の提供

製品安全に関するお客さまへの情報の提供方法は、

（1）製品への直接指示・表示、あるいは取扱説明書
（2）販売員・サービス員によるお客さまへの説明
（3）営業・サービス部門を窓口とした電話受付ですが、必要に応じて技術者や経営トップがお客さま訪問をするなどし、状況に応じた最善の努力をしています。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

リコールの対応体制

近年リコールに関する市場の認識は、より厳しく推移してきています。コマツは、リコールに関する組織強化、対応の総力化、迅速な是正処置、および積極的な情報開示に取り組み、監視の厳格化を進めつつ、市場における安全性の確保に努力しています。

リコール手順

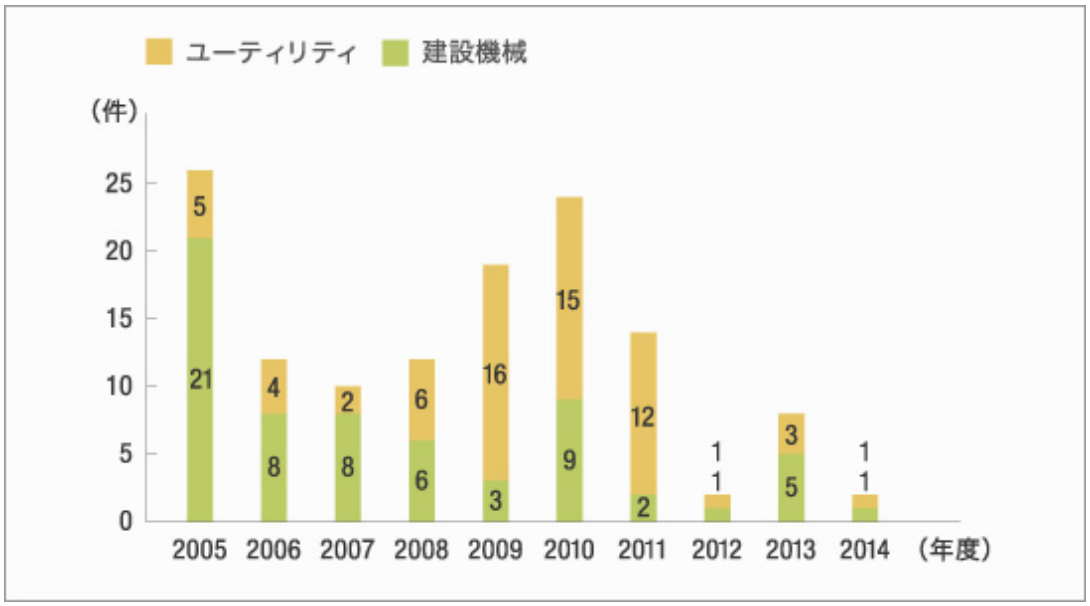
（1）不具合情報に基づく改善案、市場への対策方法の決定
（2）法規制の手順に従った当局への届出、報告書提出
（3）ホームページ、ダイレクトメールなどでのお客さまへの告知
（4）代理店より直接お客さまへの説明、製品回収、無償修理

リコール防止への取り組み

（1）市場品質情報収集体制の強化
（2）リコール問題の技術的検証と早期解決推進
（3）リコール関連業務の定期的な監査実施

コマツは、法規制遵守の監視を厳格に進めるとともに、万一製品やサービスに欠陥が生じた場合は迅速な是正処置と積極的な情報公開を実施しています。リコール届出件数については下図のとおりですが、今後も、安全については総力を挙げて取り組んでまいります。

リコール届出件数（日本販売の建設機械およびユーティリティ商品）



生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

労働安全衛生

労働安全衛生は、コマツが事業を展開する上での、最も重要なテーマの一つです。グループ内はもとより、ビジネスパートナーを含めた職場における安全への取り組みに力を入れています。

職場の安全衛生に対する考え方

コマツ社長メッセージをもとに安全衛生方針を制定しコマツグループに発信、労働安全と身体と心の健康管理に取り組み、安全で安心して働ける職場づくりを進めています。

安全衛生に関するコマツ社長メッセージ

(1) コマツは、まず第一に「社員が安全で安心して働ける職場環境を確保する」とともに、「社員の健康の維持・増進」に努める。
(2) コマツは、その実現に向けて、全員が一致協力して、「積極的な安全衛生・健康管理活動」を推進する。
(3) コマツの各部門責任者は、上記を最優先課題として認識し、率先垂範して活動する。

このメッセージをもとに、「グループ各社は、社員が安全で、安心して働くことのできる職場環境の実現に向けて、次の方針に則り、経営責任者と社員が一致協力して、安全衛生・健康管理活動を推進する。」という安全衛生方針を制定しています。

安全衛生方針
（2011年4月1日付 コマツの行動基準にて発信）

(1) 労働安全衛生に関する法令や社内規定、グループ共通の安全衛生重点項目および各事業場で労使協議の上決めた事項を遵守する。
(2) 安全衛生方針に基づいた目標を定め、その達成状況の把握と見直しを行い、安全衛生活動の継続的な改善・向上に取組む。
(3) 労使協力して、全員参加の安全衛生活動を推進するとともに、ステークホルダーとも良好なコミュニケーションを図る。
(4) 安全と健康確保のため職場の労働安全衛生上のリスクを特定・評価し、その結果に基づき適切に対応する。
(5) 社員の健康管理を積極的に推進し、さらに社員自らが行う健康保持増進の取り組みを支援する。
(6) 社員の安全衛生活動に必要な教育訓練および資格取得を積極的に推進し、安全に業務を遂行できる人材の育成を図る。
(7) 事業活動を通じて蓄積した安全衛生活動に関する知識・情報は、個人情報に配慮し、社会全体の安全と健康確保のために提供する。

「コマツの行動基準」より

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

また、コマツグループでは、従来の健康管理だけではなく、「健康文化づくり」に着手し、2014年度より「健康づくり５ヵ年計画」をスタートさせました。コマツグループが目指す「健康文化」とは「自分と仲間の健康状態に目を向け、より良い人生を送るために、必要な事項を、自ら考え行動できること」です。これらを強力に推進するため、2014年6月にコマツ社長による「コマツ健康宣言」を発表しました。

【コマツ健康宣言】

私たちは、コマツグループで働く社員がより良い人生を送れるよう、日々の「健康づくり」を支援するとともに、心も身体も健康で明るくいきいきと働ける職場環境を提供していきます。

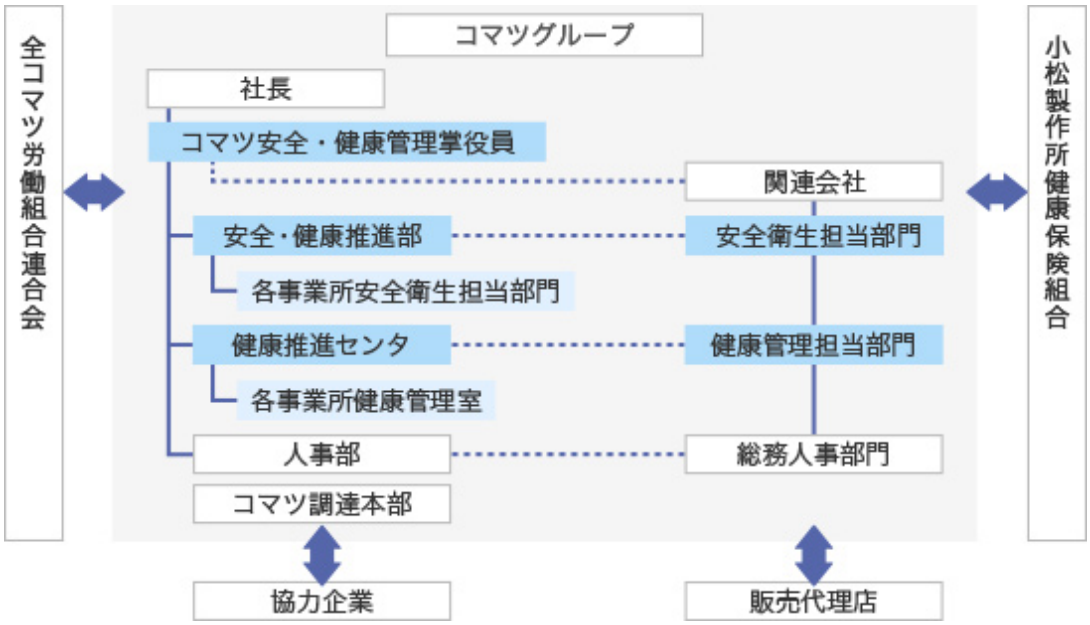
2014年6月9日

コマツ社長 兼 CEO
大橋徹二

安全衛生管理体制

コマツグループは、下記の体制で安全衛生管理の徹底を図っています。

組織



生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

会議体

グループ安全衛生大会 └各社安全大会、ゼロ災発表会等	・コマツグループ・パートナー社員の安全衛生意識の高揚・鼓舞を狙いとする。コマツグループ・パートナー各社の優秀な安全衛生活動について紹介し、情報を共有し、自部門へ展開する。 安全衛生に係る社長表彰も実施。
グループ安全衛生委員会 └各社安全衛生委員会 　└各事業所安全衛生委員会	・労使一体となり社員の危険又は健康障害を防止するための基本となるべき対策について調査、審議、決定を行う。 ＜主な調査審議項目＞ 安全、衛生に関する規程の作成。 年度活動方針の審議・決定と活動の進捗管理等。
グローバル安全・環境会議	・グローバルに取組むべき活動について情報共有とディスカッションを行い、各海外現地法人の活動に繋げる。
グループ安全担当課長会議	・全社安全活動方針の策定・提案。 ・全社方針に基づき、事業所の活動を推進、展開。
健康増進会議	・全社健康管理活動方針の策定・推進。 ・各社・各事業所の健康管理活動の総括。
健康づくり推進委員会	・事業主と社員（代表：ユニオン）及び健康保険組合が「健康」についての課題を共通認識し、社員及び家族の健康維持増進を図る施策を構築する。

安全衛生活動

(1) 労働安全衛生マネジメントシステム導入による管理レベルの向上
(2) リスクアセスメントによる災害要因の排除
(3) ゼロ災サークルによる自主的改善活動の推進
(4) 「安全道場」による危険の擬似体感教育
(5) 機械の本質安全化の推進
(6) 体の健康づくり（生活習慣病予防のための健康指導、糖尿病管理プログラム、禁煙希望者への支援　等）
(7) 心の健康づくり（ストレス診断、職場環境改善活動の実施、メンタルヘルス教育、社内外の相談窓口の設置、復職支援制度）
(8) 適切な作業環境の改善と維持管理
(9) 受動喫煙の防止
(10) 海外現地法人ならびに国内協力企業に対するグローバルでグループワイドな活動支援

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

健康づくり5ヵ年計画の主なテーマ

(1) 生活習慣病・がん対策：生活習慣病の予防および罹患者の低減、重症化予防
(2) タバコ病対策：喫煙率低減および受動喫煙の防止
(3) メンタルヘルス対策：メンタルヘルス不調者の低減、早期対応・適切な職場復帰支援、および明るくいきいきと働ける職場づくり
(4) 健康障害リスク対策：作業環境および作業に基づく健康障害リスクの排除と低減
(5) 国内小規模事業所対応：小規模事業所（営業・サービス拠点等）における健康づくり支援
(6) グローバル対応：グローバルな安全衛生・健康管理施策の策定と推進

中国における労働安全への取り組み事例

安全強化活動による工場全体の安全レベル向上

小松（常州）工程機械有限会社（KCCM）
安全部長
王若梅さん

KCCMは1995年に設立され、中型油圧ショベル、ホイールローダ及び産機製品を生産しています。2011年6月、新工場移転後、2012年に、技能道場に約20種類の安全体感施設を併設し、全従業員を対象に定期的に体感訓練を実施することにより、安全意識及び危険予知能力向上に努めています。

KCCMでは、「些細なことも無視せず、改善に取り組み安全な工場作り」をスローガンに、ゼロ災サークル活動、相互安全パトロール、危険予知訓練の充実・安全日誌の有効活用等の活動を通じて、危険要因の抽出とその撲滅を図って参りましたが、2014年4月から3か月続けて災害が発生したため、6月から非常事態を宣言し、特別安全活動を展開しました。

この安全強化活動では社員全員に安全面談を実施し、重点管理作業の確認、過去災害の再発防止対策の再徹底、設備点検の強化を実施しました。隠れた危険要因を洗い出し、改善することで工場全体の安全レベル向上に取り組みました。安全面談では延べ668人（対象者100%実施）と面談し828件の危険要因を洗い出し、改善解決しました（100%改善完了）。安全面談は今後も定期的に実施していくことを決めました。
また、活動期間中に、現業作業者全員に特別安全教育を実施しました。確認テストで満点を取るまで延360人に繰り返し教育を実施しました（対象者100%実施）。また併せて危険予知活動の強化、指差呼称の再徹底を実施しました。特別安全強化活動のスローガンの掲示、安全注意事項の構内放送などを通して、社員全員の安全意識を高揚することもできました。その結果、2014年7月から無災害を継続しています。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

安全最優先、安全には近道はありません。常に安全第一の理念に基づき、各種の安全活動を通して、継続して社員全員の安全意識を高め強化します。これからも真に安全な職場作りに取り組んでいきます。

ゼロ災サークル活動

安全パトロール

2014年度の状況

2014年4月25日、富山県のコマツキャステックスの工場で、溶解炉から熱風とスラグが噴出し、5名の方が負傷、そのうちの1名が亡くなられるという事故が起きました。また8月18日、静岡県の静岡小松フォークリフトの営業所で、タイヤのリム組替作業時の空気充填中にリムのサイドリングが外れ飛ぶ事故が起き、1名の方が亡くなられました。このような悲しい事故を、二度と起こすことがないよう、今一度、原点に立ち返り、これまで以上に積極的に安全衛生活動に取り組んでまいります。

コマツキャステックスにおける労働災害への対応

コマツでは事故発生後、直ちに緊急対策本部を設置し、5月2日には、社外有識者3名を含む事故調査委員会を立ち上げました。事故調査委員会は11月までに7回の会合を開催し、事故原因の究明と再発防止策に関する審議を行い、12月5日に事故調査委員会最終報告を公表しました。（詳細はこちらのプレスリリースを参照下さい）。この事故を受け、新規設備導入時に、社内専門家を含む安全評価員による「安全評価会」を開催するなどの恒久対策に取り組んでいます。他にも、事故調査委員会の提言を受け、コマツキャステックスでは、リスクアセスメント、安全日誌等の日常安全活動のレベルアップ、現場管理監督者を対象とした安全衛生管理のレベルアップ教育の実施や社内外の安全衛生優良事例の水平展開を図り、社員一人ひとりの安全意識の向上に努めています。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

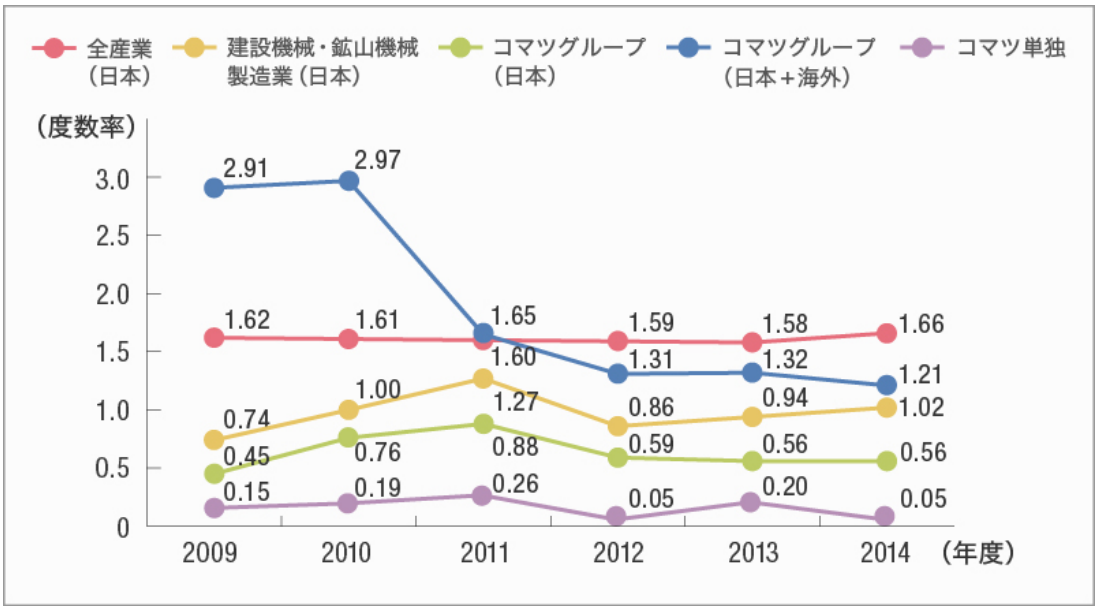
CSR重点分野 1

静岡小松フォークリフトにおける労働災害への対応

コマツリフトでは、静岡小松フォークリフト他9社のリフト系販社を含むリフトグループとして特別安全活動を実施しました。主な活動内容として、社員との面談を通じた潜在的な問題点の把握による必要な設備、治工具の配布や、リスクの大きな「重点作業9項目」の設定による、安全作業標準書に基づく再教育と指差し呼称の再徹底があります。
今後も特別安全活動を一過性のもので終わらせることなく、リフト系販社との情報共有、有効事例の提供を通じグループ全体の安全衛生活動のレベルアップに取り組んでまいります。

DATA

労働災害発生頻度（休業災害度数率）



1. 全産業および建設機械・鉱山機械製造業のデータは、厚生労働省によるもの
2. コマツグループ（日本）の対象範囲は、コマツ国内生産事業所と国内販社で、国内販社は、2010年度までは建設機械のみ、2011年度からフォークリフトを対象に追加。
3. コマツグループ（日本＋海外）は、日本国内（上記2）および2012年度までは海外主要生産系事業所22社を合計したもの。2013年度からは海外販売会社（2013年度3社、2014年度6社）を対象に追加。

生活を豊かにする
-社会が求める商品を提供する-

CSR重点分野1

OSHMS　認証・更新状況　（凡例：◎ 認証　○ 更新）

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
粟津工場	◎			○			○		
大阪工場	◎			○			○		
小山工場			◎			○			○
茨城工場			◎			○			○
郡山工場					◎			○	
湘南工場					◎			○	
金沢工場（旧小松工場）		◎		◎	○			○	
栃木工場				◎			○		
コマツキャステックス				◎			○		
コマツNTC 富山地区							◎		
コマツNTC 石川工場							◎		
コマツ建機							◎		

OHSAS 18001 認証事業所

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
コマツアメリカ / チャタヌガ工場						◎			
コマツマイニングジャーマニー					◎				
コマツフォレスト	◎								
コマツハノマーグ	◎								
バンコクコマツ								◎	
コマツインドネシア							◎		
コマツアンダーキャリッジインドネシア		◎							

OHSMS（Occupational health and safety management systems）：労働安全衛生管理システム
OHSAS（Occupational health and safety assessment series）18001：労働安全衛生認証規格